

PDCAチェックシート

実施年度	令和 6 年度			
事務事業名	引田城跡保存活用事業		担当課名	生涯学習課
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 令和2年3月に国史跡に指定された引田城跡の認知度を高めるとともに、保存活用を進める。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ○来訪者 2,000人／年 ○ハイキングガイド利用 300人／年 【達成値(R6実績値)】 ○来訪者 2,535人／年 (続日本100名城スタンプラリー) ○ハイキングガイド利用 253人／年		■具体的取組 ○保存活用計画の策定 令和5年度開催の史跡引田城跡保存計画策定委員会にて取りまとめた計画を元に、9月11日に文化庁史跡部門担当者、香川県教育委員会生涯学習・文化財課職員とオンライン協議、同月27日に同委員会を開催した。 ○受入体制の充実 引田城跡への来訪者に対応するため、駐車場や仮設トイレ等の施設管理の充実を図った。 ○啓発活動の実施 9月に城郭考証図の第一人者である香川元太郎氏を招き、引田城跡の視察を敢行。これまでになかった鳥瞰図式の引田城歴史考証図の下絵を作成した。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ○全体 1,677千円 【主な内訳(文化財保護費)】 ・報償費 75千円 ・需用費 947千円 ・役務費 13千円 ・委託料 504千円 ・賃借料 138千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○保存活用計画の策定 ・策定委員会開催 1回 ○受入体制の充実 ・駐車場、仮設トイレの管理 ○啓発活動の実施 ・続日本100名城スタンプラリー ・引田城跡ハイキングガイド ・ガイドマップの配布 ・動画投稿サイトを利用したPR活動 →再生回数計17,848回 (令和2年5月配信開始)	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) ○保存活用計画の策定 史跡引田城跡保存計画策定委員会及び文化庁調査官の指摘内容を県教育委員会と協議して、専門的に指摘に耐えうる計画策定を進める。並行して、国指定史跡引田城跡調査整備等委員会を立ち上げ、学術的・多角的な観点から調査・整備等を行い、史跡としての磨き上げを進める。 ○受入体制の充実 駐車場及び仮設トイレの清掃により、衛生面を保つよう取り組み、来訪者の利便性を高める。 ○啓発活動の実施 継続的な啓発活動は関係機関との協力が不可欠である。観光資源として活用するために地域創生課や市観光協会との連携・情報共有を進める。 また、地域おこし協力隊によるSNSでの発信や動画配信など様々なツールを活用して市内外に積極的に情報発信していく。より引田城跡の認知度を高めるため、継続した現地見学会などの開催が必要である。	■検証結果を受けての具体的対応 ○保存活用計画の策定及び整備基本計画策定に向けて 関係者・市民等から広く意見を集めるため、パブリックコメントを11月11日から30日間実施し、1人(2件)の意見を受け付け、市民の意見を反映したものとする。 ○受入体制の充実 引田城跡周辺の山林は、国有林、瀬戸内海国立公園、保安林など、整備にあたり様々な規制があるため、管理等について関係機関との協議を進める。 ○啓発活動の実施 続日本100名城スタンプラリー、引田城跡ハイキングガイドなどを利用して啓発を図る。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。